



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 林兼産業株式会社
 コード番号 2286 URL <http://www.havashikane.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 総務部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 中部 哲二
 (氏名) 小野 康之

TEL 083-266-0210

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,573	0.1	1,042	△18.9	1,246	△11.1	1,299	48.9
2020年3月期第3四半期	35,544	1.1	1,286	2.3	1,402	3.8	872	△7.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,552百万円 (332.9%) 2020年3月期第3四半期 358百万円 (△62.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	145.93	—
2020年3月期第3四半期	97.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	32,370	10,008	28.2
2020年3月期	29,683	8,601	26.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,123百万円 2020年3月期 7,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△0.4	620	△37.3	750	△41.8	1,350	54.3	151.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	8,910,000 株	2020年3月期	8,910,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	7,228 株	2020年3月期	7,228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	8,902,772 株	2020年3月期3Q	8,902,867 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け厳しい状況で推移いたしました。個人消費の持ち直しの動きに足踏みが見られるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。食品業界におきましても、外食需要の減少など厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは当連結会計年度からの2ヵ年を「将来を見据えた磐石な事業基盤の確立」の期間と位置付け、「新中期経営計画〈挑戦〉challenge2022」(2021年3月期～2022年3月期)をスタートさせました。経営資源の選択と集中による構造改革を進めて収益基盤の改善を図るとともに、安定的な利益確保に向けて構造強化を図ることで、持続的な事業発展を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、外食産業・ホテル向けの業務用食肉加工品の販売数量が減少したものの、巣ごもり需要から調理食品の販売数量が増加したことなどにより、355億73百万円(前年同期比0.1%増加)となりました。損益面におきましては、養魚用飼料の販売数量減少や豚肉仕入れコストの増加などにより営業利益は10億42百万円(前年同期比18.9%減少)、経常利益は12億46百万円(前年同期比11.1%減少)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、賃貸用不動産(大阪市港区)の売却益7億81百万円の計上もあり12億99百万円(前年同期比48.9%増加)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

なお、「2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更等を行っており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の報告セグメントに基づいております。

①水産・機能食品事業

水産・機能食品事業におきましては、魚肉ねり製品の国内販売が伸びたものの、機能性食品の中国向け輸出が減少したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は36億13百万円(前年同期比1.5%減少)となりました。損益面におきましては、販売費の減少によりセグメント利益(営業利益)は2億1百万円(前年同期比0.1%増加)となりました。

②畜産食品事業

畜産食品事業におきましては、巣ごもり需要の高まりから冷凍食品・レトルト商品向け具材の販売が好調であったことや、牛肉・豚肉の販売数量が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は155億9百万円(前年同期比1.7%増加)となりました。損益面におきましては、食肉加工品の販売数量減少や豚肉仕入れコストの増加によりセグメント利益(営業利益)は2億34百万円(前年同期比33.2%減少)となりました。

③飼料事業

飼料事業におきましては、養魚用飼料および畜産用飼料の販売数量が減少したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は146億31百万円(前年同期比0.7%減少)、セグメント利益(営業利益)は10億49百万円(前年同期比12.5%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は323億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億87百万円増加しました。流動資産の増加(前連結会計年度末比37億49百万円増加)は、主に受取手形及び売掛金が35億12百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の減少(前連結会計年度末比10億62百万円減少)は、主に投資有価証券が2億65百万円増加したものの、有形固定資産が7億17百万円、投資その他の資産のその他に含まれる破産更生債権等が6億58百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は223億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億80百万円増加しました。流動負債の増加(前連結会計年度末比18億2百万円増加)は、主に短期借入金12億62百万円減少したものの、買掛金24億65百万円、未払法人税等3億68百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の減少(前連結会計年度末比5億21百万円減少)は、主に長期借入金5億81百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は100億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億6百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を12億99百万円計上したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は28.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の長期化が懸念されており、当社グループを取り巻く経営環境は依然として先行き不透明な状況が続くと考えられます。

こうしたなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおり推移していることから、2020年5月19日に発表した通期の業績予想に修正はありません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,922,156	3,498,590
受取手形及び売掛金	5,319,303	8,831,626
商品及び製品	2,350,987	2,173,066
仕掛品	2,198,012	1,597,397
原材料及び貯蔵品	2,096,611	1,970,901
その他	564,926	168,961
貸倒引当金	△3,119	△42,012
流動資産合計	14,448,879	18,198,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,466,278	2,949,358
土地	4,339,231	4,203,944
その他(純額)	3,196,006	3,130,462
有形固定資産合計	11,001,516	10,283,765
無形固定資産	17,975	19,056
投資その他の資産		
投資有価証券	3,046,885	3,312,084
その他	2,406,158	1,674,936
貸倒引当金	△1,238,106	△1,117,990
投資その他の資産合計	4,214,938	3,869,030
固定資産合計	15,234,430	14,171,852
資産合計	29,683,309	32,370,383
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,271,825	4,737,278
短期借入金	9,113,737	7,850,909
未払法人税等	113,083	481,539
賞与引当金	298,204	154,454
環境対策引当金	15,520	156
その他	2,286,943	2,677,090
流動負債合計	14,099,315	15,901,429
固定負債		
長期借入金	2,801,819	2,219,962
環境対策引当金	7,478	7,478
退職給付に係る負債	2,038,580	2,050,974
その他	2,134,441	2,182,256
固定負債合計	6,982,320	6,460,671
負債合計	21,081,635	22,362,100

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	8,971	8,971
利益剰余金	3,808,435	4,974,111
自己株式	△7,343	△7,343
株主資本合計	7,225,083	8,390,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576,907	753,947
繰延ヘッジ損益	430	△3,870
為替換算調整勘定	7,070	—
退職給付に係る調整累計額	△23,023	△17,087
その他の包括利益累計額合計	561,384	732,989
非支配株主持分	815,204	884,533
純資産合計	8,601,673	10,008,282
負債純資産合計	29,683,309	32,370,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	35,544,373	35,573,174
売上原価	29,475,715	29,922,654
売上総利益	6,068,658	5,650,519
販売費及び一般管理費	4,782,314	4,607,600
営業利益	1,286,344	1,042,919
営業外収益		
受取配当金	72,048	73,373
補助金収入	—	80,572
その他	186,302	175,474
営業外収益合計	258,351	329,419
営業外費用		
支払利息	113,131	98,553
その他	29,292	26,799
営業外費用合計	142,423	125,353
経常利益	1,402,271	1,246,985
特別利益		
固定資産売却益	—	781,758
受取保険金	14,662	—
その他	12,730	28,508
特別利益合計	27,393	810,267
特別損失		
固定資産除却損	7,842	50,815
投資有価証券評価損	33,443	—
固定資産圧縮損	14,662	23,979
減損損失	8,531	22,509
その他	8	—
特別損失合計	64,488	97,304
税金等調整前四半期純利益	1,365,176	1,959,947
法人税、住民税及び事業税	421,074	560,666
法人税等調整額	14,104	29,191
法人税等合計	435,178	589,858
四半期純利益	929,997	1,370,089
非支配株主に帰属する四半期純利益	57,619	70,866
親会社株主に帰属する四半期純利益	872,377	1,299,222

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	929,997	1,370,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△580,464	187,783
繰延ヘッジ損益	1,102	△4,300
退職給付に係る調整額	8,013	5,935
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△7,041
その他の包括利益合計	△571,343	182,377
四半期包括利益	358,653	1,552,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,911	1,470,827
非支配株主に係る四半期包括利益	14,742	81,638

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産・機能 食品事業	畜産食品 事業	飼料 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,668,448	15,251,162	14,737,262	33,656,873	1,887,500	35,544,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	826	130,109	1,216,919	1,347,856	427,993	1,775,849
計	3,669,275	15,381,272	15,954,181	35,004,729	2,315,494	37,320,223
セグメント利益	201,699	351,451	1,200,138	1,753,289	226,452	1,979,742

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,753,289
「その他」の区分の利益	226,452
セグメント間取引消去	4,381
全社費用(注)	△697,780
四半期連結損益計算書の営業利益	1,286,344

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに帰属しない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8,531千円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産・機能 食品事業	畜産食品 事業	飼料 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,613,633	15,509,356	14,631,947	33,754,937	1,818,236	35,573,174
セグメント間の内部売上高 又は振替高	667	123,971	1,134,070	1,258,709	425,972	1,684,682
計	3,614,301	15,633,328	15,766,017	35,013,647	2,244,208	37,257,856
セグメント利益	201,912	234,922	1,049,894	1,486,729	241,363	1,728,092

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,486,729
「その他」の区分の利益	241,363
セグメント間取引消去	4,517
全社費用(注)	△689,691
四半期連結損益計算書の営業利益	1,042,919

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに帰属しない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては22,509千円です。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、2020年4月1日付け組織変更に伴い、従来「水産食品事業」としていた報告セグメントの名称を「水産・機能食品事業」に変更するとともに、従来「全社費用」として差異調整に関する事項に含めていた当社研究開発部門の費用を「水産・機能食品事業」に含めることとしております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを記載しております。